

**令和 6 年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（林業（社会人））】**

専門・経験論文試験課題

＜課題＞ ※ 専門論文課題に限る

本県は、スギを中心とする人工林資源の 8 割が収穫期を迎えている中、林内路網の整備や高性能林業機械の導入などの生産基盤の充実、製材工場の大型化・効率化、木質バイオマス発電施設の稼働等に伴う木材需要の高まりにより、伐採面積は高い水準で推移しており、特に採算性の高い森林から伐採が急速に進んでいます。

一方、森林所有者の林業経営意欲の減退や、林業担い手の減少・高齢化、造林・育林作業の労働力不足等により、採算性の高い場所であっても、伐採後の再造林が進まない森林も見られ、毎年、伐採跡地の約 3 割、約 8 0 0 ha が植えられていない状況となっています。

このため、県ではゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現を目指す「グリーン成長プロジェクト」を立ち上げ、再造林率を現在の約 7 割から 9 割に引き上げる「再造林率日本一」を目標に集中的な取組を行うこととしており、その中で再造林、下刈りなど、林業の担い手確保対策を大きな柱の一つと位置づけています。

そこで、目標とする「再造林率日本一」を達成し、持続可能な資源循環型林業の確立に不可欠な林業の担い手を確保するためには、どのような取組が効果的であるか、あなたの考えを述べなさい。